

令和4年度 教育・保育活動に対する学校評価

学校法人瀬戸谷学園 セとやこども園 園長 福與繁太郎
 学校法人瀬戸谷学園 セとやこども園 評価委員会委員長 渡辺伊津佳

1 教育目標

・誰とでも仲良く遊ぶ子 ・あきらめず行動できる子 ・優しく思いやりのある子 ・自分で考え工夫できる子

2 本年度の重点

<元気な子>

- ・友だちと仲良く遊ぶ
- ・好き嫌いをしないで食べる
- ・大きな声であいさつする
- ・戸外で身体を使って楽しく遊ぶ

<自立する子>

- ・基本的な生活習慣を身に付ける
- ・自分でできることは自分でする
- ・共通の目的に向かって遊び等を進める

<考える子>

- ・友だちとの関わりの中でルールを守る
- ・工夫して絵を描いたり制作したりする
- ・言葉で伝え合う

3 自己評価と学校関係者評価結果

評価点…A (十分に成果がある) B (成果がある) C (あまり成果がない) D (成果がない)

評価項目欄の①～⑤は、評価アンケートの項目数字

評価対象	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		評点	園としての反省と◎改善策	評点	評価委員の意見
教育活動	保育の計画性 ⑦⑧	A	・園目標「元気な子・自立する子・考える子」は大きな方向性を示すもので、達成度合の判断は簡単ではない。一方で、園目標に沿って活動を設定したり園児を見守ったりしていくことは、保護者も含めて園全体が同一歩調で進む上で大切であると考えられる。 ・行事の大幅変更の必要性はないと考えられるが、園児の年齢や発達に即した行事という視点から、各行事のねらいを明確にした上で、内容・運営面ともにさらなる磨き上げをしていきたい。	A	・親にとって行事ごとでの成果が楽しみだと思えます。 ・職員の自己評価結果の分析がされていたのが良かった。 ・研修等で先生方が勉強されているとは思っていましたが、なかなか保護者に入っていない情報なので、保育についての研修を受けていると聞き安心しました。
	園生活の充実 ①	A	・園生活全般に、保護者は肯定的に受け止めている。 ・園児の笑顔あふれる園づくりを今後も進めたい。	A	・地区外からも子どもが通ってきていることが“充実”の証となっている。 ・良い環境、きめ細かい指導・支援をされていると思えます。
	保育の在り方・園児への対応 ④	B	・園児数が少人数であることが回答の背景にあると思われるが、保護者はほぼ肯定的な評価をしている。一方で職員は、昨年の園児虐待事件の報道を意識し、自身を含む園全体の保育が子ども一人一人の人権を大切にしたものとなっているかを、厳正に自己評価したものと思われる。園児個々を大切に保育を求め、職員研修を重ねたい。 ◎毎週木曜日の職員打合せで、「人権擁護のためのセルフチェックリスト」等の資料にもとづき、「よりよい保育」をテーマとした研修を継続する。	B	・「10の姿」を小学校に繋げていきたいと思えます。 ・保護者アンケートの回答で「感情的に怒ったり…」という部分が気になりました。
保護者との信頼関係	保護者への対応 ③	B	・「職員に話しやすい」と感じている保護者は多いが、職員としては「保護者へどのように話せばよりよく（正しく）受け止めてもらえるか」を常に意識している結果と思われる。「誤解のないよう正しく伝える」ことは保護者の信頼を得る基本であり、職員が自身のコミュニケーション能力向上を常に意識するとともに、研修も重ねる必要がある。	B	・日々の連絡ノートも安心材料になっています。先生の数が多くなり、名前がわからないのが気になりました。
	広報、連絡、保護者との情報共有 ⑤	A	・限られた紙面や時間の中で、「園生活のどの場面を取り上げてどのように保護者に伝えるか」が重要となる。今後も、「子どもの今」を正しく丁寧に伝える努力を続けたい。	A	・毎回のお便りを楽しみにしています。 ・毎月送付され拝見しています。構成なども工夫され質の高い広報誌です。 ・HPのつくり方に大きな関心があります。少しでも参考にさせて頂ければと思います。 ・藤の瀬会館や「ちよっくら」で園のおたよりが掲示されていて嬉しく思いました。園の存在を地域に発信されているなど感じます。

環境整備 保健安全	安全・安心な環境 整備 ⑧	B	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度は乳児用の遊具や園庭の整備を徐々に進めてきたが、まだ十分とはいえない。施設の経年劣化による不具合も時折あり、日常の安全点検を確実に進めたい。 ・県内保育施設での通園バス園児置き去り事故を教訓に、登園時の出欠席確認を確実に・丁寧にを行う必要がある。 ◎不審者侵入防止のため園庭南側フェンスの高さを伸長する経費等について調査したい。 ◎乳児が室内で安全に遊べる玩具購入への予算を重点的に措置したい。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・誰でも入りこめる状況であるので不審者対策は十分注意してください。 ・乳児向けの遊び場が出来たのが良いと思います。幅広い年齢の子ども達が皆安心して仲良く過ごせる環境作りが有難い。
地域資源 を生かした 保育・ 教育	家庭・地域との連 携・協力 ⑥	B	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染防止のため制約は多かったが、地域の自然や環境を生かした活動を充実させたいと考える職員は多い。今後、新型コロナの5類への意向を踏まえて、地域や家庭との連携場面は多くなると思われるが、「コロナ前に全て戻す」ことが必ずしも最善とはいえないため、各行事や活動の在り方を慎重に検討して進めたい。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・JA婦人部の方が畑づくりに関わってくれていると聞き、有難いと思いました。
	食育の推進 ②⑨	A	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭では「食べない・食べられない」という場合でも、園では「食べる・食べようとする」園児が多く、保護者・職員ともに給食の意義や効果を感じている。 ・保護者は給食への満足度が高いことが背景にある。幼児部は畑での作物栽培やかつお節教室など「食育」に意欲的に取り組んできたことが評価に反映したと思われる。食育の専門家には、「特別なことより給食など日常の活動を大切にすべき」との言説もある。今後も園児の年齢等に応じたバランスのとれた食育を展開したい。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・重点に沿って食育が充実してとても素晴らしいと思います。 ・地元の農産物を食材としていることは素晴らしいと思います。是非とも充実強化に努めてください。 ・塩むすびのおかわりも楽しみの一つで、ペース良く食べることでできるツールになっているようです。
その他					<ul style="list-style-type: none"> ・園を訪問する機会もなく配付されるお便り等でしか判断できないことでしたので、十分な評価ではありませんが、素晴らしい取組みをされていると思います。 ・木の香漂う園舎のみならず、とにかく芝生が良いですね。子ども達が伸び伸びと遊び学んでいるのだと感じます。小学校のスタートカリキュラムに活かしていきます。 ・長男入園から8年間お世話になりました。こども園化の中でお金をかけ環境を整えて下さっていると感じ、本当に有難いです。また、パステルの導入などハードルが高そうなIT分野も積極的に取り入れられ、しっかり機能しているのが素晴らしいと思います。

令和5年3月6日 学校法人瀬戸谷学園せとやこども園

理事長 平井

